



# 第41期 中間報告書

2015年4月1日～2015年9月30日

食にこだわり美味しさを追求する  
松屋フーズの取り組みを  
株主の皆様へお届けします。

好評

## プレミアム牛めし

美味しさへのあくなき追求が、この一杯に。

肉の旨味、柔らかさ、  
自然味のタレ、極まる。



みそ汁付

無添加  
化学調味料・人工甘味料・  
合成着色料・合成保存料を  
使用していません。

\*写真はイメージです。\*盛り付けは一部異なる場合がございます。\*お持ち帰りにはみそ汁は付きません。60円(税込)でお求めいただけます。

# プレミアム牛めしの6大特徴



### 特徴 1

生産から店舗まで、一度も  
冷凍しないから柔らかさと旨味、  
そしてなめらかさが違う

## 熟成チルド牛肉

### 特徴 2

煮ダレは天然ダシで、  
すっきりと自然な後味

## 無添加のタレ

### 特徴 3

おいしいご飯は  
すべて国産を使用

## あきたこまち 100%

### 特徴 4

と一緒に提供、  
天然ダシを利かせた

## 無添加みそ汁付

### 特徴 5

牛めしの旨さを引出す  
オリジナルブレンド

## 黒胡麻焙煎七味

### 特徴 6

お店の味をそのままに  
お持ち帰りは

## セパレート盛り

# 価値ある商品を継続して

日本経済は、輸出産業を中心とした企業収益の改善や公共投資の復調等、緩やかな回復基調が続いております。しかしながら、円安による物価上昇や消費税増税に伴う消費者マインドの低迷や海外景気の下振れ等の景気を下押しするリスクもあり、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、食材価格や人件費の上昇、為替の変動等により経営環境は一層厳しさを増しております。

そのような状況の中、当社の強み・特徴である商品開発力や店舗オペレーション力を活かし、様々な

## 当中間期の業績はいかがでしたか

新商品、販売促進を展開して参りました。

新商品としては、「春のよくばりカレー祭り」として「とろろりチーズソースの煮込みハンバーグカレー」「ごろごろ煮込みチキンカレー」の販売、「ブラウンソースハンバーグ定食」「ネギだく！塩ダレ豚とろろ定食」「四風旨辛麻婆豆腐定食」「トマトバジルハンバーグ定食」等を導入いたしました。また「うまたまハンバーグ定食」「夏野菜トマトカレー」「山形だし牛めし」「山かけネギトロ丼」等の季節商品の販売や、「カルビ焼肉定食」「牛焼肉定食」の値引きキャンペーンを実施しました。

これらの取り組みの結果、当中間期の連結業績は次のとおりとなりました。



代表取締役会長  
瓦 菫 利夫

代表取締役社長  
緑川 源治

## 「第41期中間報告書」送付及び「第41期中間配当金のお支払い」について

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社第41期中間期(2015年4月1日から2015年9月30日まで)の事業の概況を、ここに「第41期中間報告書」としてお届けいたしますので、よろしくご高覧賜りますようお願い申し上げます。

また、「第41期中間配当金のお支払い」に関する書類も同封させていただきます。下記のとおりお受け取りくださいますようお願い申し上げます。 敬具

### 「第41期中間配当金のお支払い」について

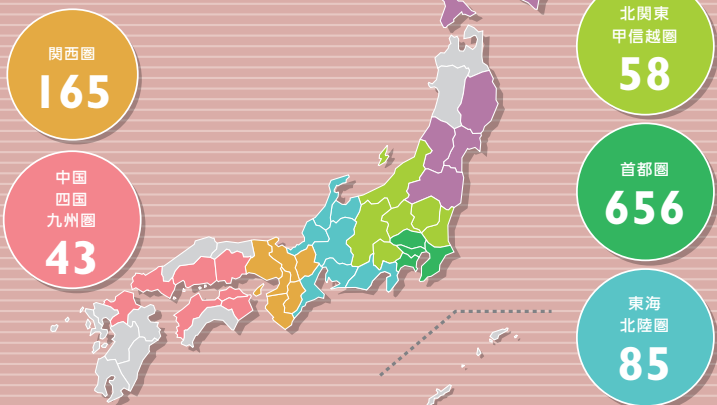
第41期中間配当金(1株につき12円)は、同封の「第41期中間配当金領収証」により、お近くのゆうちょ銀行全国本支店及び出張所並びに郵便局(銀行代理業者)でお受け取りください。

また、口座振込みをご指定の方は、「第41期中間配当金計算書」及び「配当金のお振込先について」を同封いたしましたので、ご確認くださいようお願い申し上げます(株式数比例配分方式を選択された場合の配当金のお振込先につきましては、お取引の口座管理機関(証券会社)へお問い合わせください)。

## 1,000店舗のその先へー店舗戦略

# 1,045

店舗(2015年9月末現在)



## 2015年度第2四半期連結決算ハイライト

	第39期 第2四半期 累計 (実績)	第40期 第2四半期 累計 (実績)	第41期 第2四半期 累計 (実績)	第41期 期末 (予想)
売上高	38,695	39,740	40,630 (前年同期比+2.2%)	82,850
営業利益	637	612	999 (前年同期比+63.1%)	3,000
経常利益	628	633	1,023 (前年同期比+61.6%)	3,150
親会社株主に 帰属する 四半期(当期) 純利益	179	26	320	1,250

(単位:百万円)

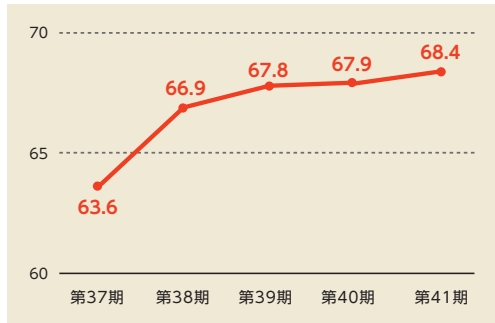
※「企業結合に関する会計基準」等を適用し、当期より「四半期(当期)純利益」を「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」としております。

# お届けすることが私たちの使命です。

価値観の高いメニューをお客様に提供するために、原点に戻り、QSCの維持・向上に努めます。



FLコストの推移  
(第2四半期/連結ベース)



まず、売上高につきましては、既存店売上が前年同期比101.3%と前年を上回ったこと等により、前年同期比2.2%増の406億300万円となりました。

売上原価につきましては、原価率が前年同期と同水準の33.7%となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、売上高に対する比率が前年同期の64.8%から63.8%となりました。この要因は、アルバイト・パートの平均時給の増加等により、人件費の売上高に占める割合が前年同期の34.2%から34.7%と上昇した一方、売上高の増加により、人件費以外の経費の売上高に占める割合が、前年同期の30.6%から29.1%と改善したことによるものであります。なお、当社において重視すべき指標と認識しているFLコスト(売上原価と人件費の合計。FOODとLABORに係るコスト)の売上高比は、前年同期の67.9%から68.4%へと増加いたしました。

以上の結果、営業利益は前年同期比63.1%増の9億9900万円、経常利益は同61.6%増の10億2300万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比2億9300万円増の3億2000万円となりました。

## 下期の展望について教えてください

今後の日本経済の見通しについては、経済再生に向けた政策効果等が下支えする中で、緩やかな景気回復基調が続くことが期待されております。しかしながら、外食業界におきましては、競争の激化に加え、雇用環境の改善による雇用コストの上昇等、当社グループを取り巻く経営環境はより厳しさを増すものと考えられます。

そのような中で当社グループは、「みんなの食卓でありたい」という経営スローガンの下、お客様にとって価値観の高いメニュー開発を進め、販売促進・売上対策を積極的に推進して参ります。また店舗運営の基本でもあるQSC(商品力・サービス力・清潔感)の維持・向上に努め、お客様のご要望に応え続けていけるよう、社内研修やイベントも強化するなどして従業員教育にも引き続き力を入れて取り組んで参ります。

株主の皆様におかれましては、より一層のご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

Close up

## 松屋フーズの新業態開発

## 新業態店舗数

(2015年9月30日現在)



とんかつ業態  
72店舗

とんかつ 松の家

鮎業態  
7店舗

知 Dining  
すし松 福松

ラーメン業態、その他  
3店舗

知 Dining  
セロリの代

cafe  
terrasse  
verte

リーズナブルな価格で本格的なとんかつやカレーを中心とするメニューが楽しめる新業態として多店舗展開を計画しています。

手頃な価格で新鮮な味を楽しめる回転寿司店。幅広い層のお客様を対象に駅前・商店街を中心とする店舗展開を推進しています。

野菜と鶏肉をじっくり煮込んだ健康志向の塩そばをはじめ、新感覚のラーメンをお楽しみいただけます。多くの女性のお客様にご好評をいただいております。

高級感あふれるインテリアと本格的な味が楽しめる鮎割烹の新業態。魚市場直送の新鮮な素材と職人の技をお届けしています。

その日の気分で楽しめるカフェレストラン。パリアフリー設計を取り入れた心地よいインテリア空間に包まれ、オシャレで美味しいひとときをお過ごしいただけます。

お客様にご満足いただける  
松屋フーズグループを目指しています。



食の安全  
1

安全を約束する。それがすべての基本です。

「食の安全性」。それはフードビジネスに携わる企業に課せられた永遠のテーマです。松屋フーズではすべてのお客様が、いつでも安心してお食事をお楽しみいただけるように、徹底した品質・安全管理体制を確立しています。食材は松屋フーズの品質基準をクリアしたもののだけを季節に合わせて全国各地から産地直送。特に野菜については提携農家が育てた素材の「生産履歴」を把握できるトレーサビリティ・システムの構築や、畑から店舗まで野菜を一定の温度下で管理し、鮮度を維持するコールドチェーン・システムを確立しています。



食の安全  
2

最先端テクノロジーで美味しさと安全をお届けする3つの生産拠点

川島生産物流センターでは、最新のテクノロジーによる省人化・省エネ化を実現。精肉の検品・加工・箱詰めをスピーディかつ正確に行います。また、川島生産物流センターは、全国の店舗へ食材を供給する物流拠点としての機能も備えています。

野菜・漬物類の調理・加工を担う富士山工場は、地下250メートルから自噴する天然水を生産ラインに活かし、素材の鮮度維持と省電力化を高いレベルで実現。

カレーやドレッシング、タレ類の調理・加工、精米等を行う嵐山工場は、大規模でフレキシブルな空間特性を活かした精米専用ラインも完備しています。



新鮮で美味しい状態を保ったまま、川島生産物流センター(埼玉県)から全国の店舗へスピーディに配送されます。



天然水流を活用した富士山工場(静岡県)の野菜加工ライン。



カレーやタレ類の味覚チェックは嵐山工場(埼玉県)で行います。

「松屋」の美味しさをご家庭で ~松屋オンラインショップ~



できたての美味しさを、そのまま急速冷凍する「冷凍個食パック」はお店と変わらない美味しさを長期間維持できるフリージング方式を採用。松屋フーズのこだわりが息づく逸品に仕上げました。

お申し込みは <https://www.matsuyafoods.co.jp/onlineshop/>

株主の皆様へアンケートのお願い

1. 当社株式をどの位の期間保有されていますか。
  - a. 10年以上
  - b. 7年~10年
  - c. 5年~7年
  - d. 3年~5年
  - e. 1年~3年
  - f. 1年未満
2. 今後の当社株式についてどのような方針をお持ちですか。
  - a. 売却
  - b. 長期保有
  - c. 買い増し
3. 株式の今後の方針について決定するための判断材料は何ですか。
  - a. 業績
  - b. 株価
  - c. 優待
  - d. 配当
  - e. 財務状況
4. 今回の中間報告書で、興味を持っていた内容は何ですか。
  - a. 社長インタビュー
  - b. プレミアム牛めし
  - c. 商品紹介
  - d. Close up
  - e. 店舗戦略
  - f. 決算ハイライト
  - g. トピックス
5. 当社の今後の経営課題について、重要だと思われるものは何ですか。(複数回答可)
  - a. 商品開発
  - b. 販売促進(キャンペーン)
  - c. 価格政策
  - d. 店舗開発
  - e. 業態の多様化
  - f. M&A
  - g. 食の安全・安心への取り組み
  - h. 環境問題
  - i. CSRの取り組み(企業の社会的責任)
  - j. その他、ご意見・ご要望をお聞かせください



春のよくばり  
カレー祭り



てりたまチキン定食



ブラウンソース  
ハンバーグ定食



うまトマハンバーグ  
定食(復活)



ネギだく!  
塩ダレ豚とろろ定食



トマトカレーシリーズ



鶏の甘辛味噌炒め定食



プレミアム山形だし  
牛めし



豚キムチ定食



山かけネギトロ丼



ガーリックチキン定食



カルビ焼肉定食  
50円引きキャンペーン



牛焼肉定食  
50円引きキャンペーン



四川風旨辛  
麻婆豆腐定食



トマトバジル  
ハンバーグ定食

# 美味しさと 安全を追求し、 定番と新メニューを 提供

2015年度  
上半期

2015年上半期は商品開発力と店舗のオペレーションを活かして、多くの新商品の投入と、お客様からの人気の高い夏の人気メニューを再投入しました。身体に優しい自然の味をお楽しみいただけるメニューを引き続き増強しています。

10.15

## 「プレミアム牛めし」 50円引きと キャンペーンを 開催



2015年10月15日から、日ごろのご愛顧に感謝を込めて「プレミアム牛めし50円引き」と同時に、「プレミアム牛めしのココが違うクイズ」に答えて「プレミアム牛めし10,000杯プレゼントキャンペーン」を開催いたしました。

【アンケートに関するお願い】

当社では、株主、投資家の皆様とのコミュニケーションを図るため、アンケートを実施させていただいております。お手数ではございますが、質問にお答えいただき、ご投函ください。ご協力をお願いいたします。

郵便はがき

1 8 0 8 7 9 0

料金受取人私郵便

武蔵野局承認  
7199

差出有効期間  
平成28年6月  
30日まで有効

切手不要

(受取人)  
東京都武蔵野市中町1-14-5  
株式会社松屋フーズ 人事総務部 行

(〒118)



個人情報保護のため氏名はご記入いただかなくて結構です。

住所 (都道府県名)	(都・道・府・県)
性別	男・女
年齢	20代未満、20代、30代、40代、50代、60代、70代以上
職業	会社員、会社役員、自営業、官公庁・団体職員、専門職、主婦、無職、その他
株式投資歴	3年未満、3年以上10年未満、10年以上20年未満、20年以上

該当する項目に○をお付けください。

## 会社概要 (2015年9月30日現在)

設立	1980年1月16日
資本金	66億5,593万2,100円
従業員数	1,322名
売上高	811億円(第40期実績)
本社	東京都武蔵野市中町一丁目14番5号
店舗	1,045店舗 ※海外店舗を除く
事業内容	・牛めし定食事業 ・とんかつ事業、鮨事業 ほか ・フランチャイズ加盟店への食材等の販売及び経営指導

## グループ会社紹介 (2015年9月30日現在)

当社(株)松屋フーズ	青島松屋商貿有限公司
(株)エム・ティ・ティ	上海松屋餐飲管理有限公司
(株)エム・エル・エス	Matsuya Foods USA, Inc.
(株)松屋ファーム	Matsuya International, Inc. Matsuya New York, Inc.

## 株式の状況 (2015年9月30日現在)

発行可能株式総数	70,000,000株
発行済株式総数	19,063,968株
株主数	36,736名

## 大株主 (上位10名) (2015年9月30日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
瓦葺 利夫	3,846,300	20.18
有限会社ティケイケイ	2,979,441	15.63
有限会社トゥイー	1,830,000	9.60
瓦葺 一利	928,500	4.87
瓦葺 香	744,372	3.90
株式会社商工組合中央金庫	518,400	2.71
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友信託銀行再信託分・株式会社三井住友銀行退職給付信託口)	311,000	1.63
松屋社員持株会	261,089	1.36
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	206,200	1.08
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	196,400	1.03

## 役員一覧 (2015年9月30日現在)

代表取締役会長	かわら ぶき とし お 瓦 葺 利 夫
代表取締役社長	みどり かわ げん じ 緑 川 源 治
専務取締役	こまつ ぎき かつ ひろ 小松崎 克 弘
専務取締役	すず き はる お 鈴 木 治 夫
常務取締役	かわら ぶき かず とし 瓦 葺 一 利
常務取締役	たん ざわ き いちろう 丹 沢 紀一郎
取締役	うす い よし と 薄 井 芳 人
取締役	おお くら たつ や 大 蔵 達 也
取締役	ふじ わら え り 藤 原 英 理*
常勤監査役	にし むら のぶ お 西 村 信 夫
監査役	ふじ の き きよし 藤ノ木 清*
監査役	はま 濱 しゅう 洲*

\*は社外取締役、社外監査役

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会: 毎年3月31日 期末配当: 毎年3月31日 中間配当: 毎年9月30日

そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

## 上場証券取引所

東京証券取引所市場第一部

## 公告方法

当社の公告は電子公告により行います。  
ホームページアドレス <http://www.matsuyafoods.co.jp>  
ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載いたします。

## 株主名簿管理人 及び

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

## 特別口座の口座管理機関

三井住友信託銀行株式会社

## 株主名簿管理人

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

## 事務取扱場所

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先)

〒168-0063 東京都杉並区泉二丁目8番4号

(電話照会先)

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(インターネットホームページURL)

☎0120-782-031

(インターネットホームページURL)

<http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

単元株式数

100株

## 株主の皆様の声をお聞かせください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<http://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード 9887

いいかぶ

検索

空メールによりURL自動返信 [kabu@wjm.jp](mailto:kabu@wjm.jp)へ空メールを送信してください。  
(タイトル、本文は無記入) アンケート回答用のURLが  
直ちに自動返信されます。

アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。  
e-株主リサーチ(オンライン)でご回答いただいた方の中から  
抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます。

※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2mediaについての詳細<http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

アンケートのお問い合わせ TEL: 03-5777-3900(平日 10:00~17:30)  
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL: info@e-kabunushi.com

## 教えて! ウシ松君

Q 券売機で交通系電子マネーを使える店舗があると聞いたのですが、どこの店舗で使えるのか教えてください。

A 現在、新業態も含め、865店舗(2015年10月末時点)でご利用できます。どの店舗で利用できるかは、HPの店舗案内で調べることができます。



北海道・東北圏	19店舗
北関東・甲信越圏	36店舗
首都圏	641店舗
東海・北陸圏	28店舗
関西圏	118店舗
中国・四国・九州圏	23店舗



株式会社 松屋フーズ

〒180-0006 東京都武蔵野市中町一丁目14番5号  
TEL: 0422(38)1121(代) <http://www.matsuyafoods.co.jp>

